

## 教育研究活動情報システム ARIS-Gifu の項目構成

村瀬康一郎\*<sup>1</sup>, 興戸律子\*<sup>2</sup>, 加藤直樹\*<sup>3</sup>, 益子典文\*<sup>4</sup>, 松原正也\*<sup>5</sup>

＜概要＞岐阜大学では、教員の教育・研究における活動実績を不断に蓄積管理するための教育研究活動情報システム ARIS-Gifu を平成 17 年度より本格稼働させている。

本システムは、教員が自己に関わる実績が発生すると、その都度教員自ら登録や修正を行うという作業を行い、一人一人の教員がもつ様々な種類の業績を自分で簡便に管理・運用ができるシステムであるとともに、それらの情報を学内外に公開できるシステムであるが、教育職員の教育・研究に関わる実績情報を、その活動実態と整合性を確保しつつ、かつ情報入力と利用がしやすくするためには、その情報の分類と項目設定が重要となる。

本報告では、ARIS-Gifu におけるその分類の枠組み（クラス）と各クラスにおける項目の構成について述べる。

＜キーワード＞教育研究情報，大学情報データベース，情報管理，データベース項目

### 1 はじめに

岐阜大学では、教員が自己に関わる様々な実績が発生する都度、教員自らが登録や修正を行って簡便に管理・運用ができる教育研究情報システム ARIS-Gifu を構築し、平成 17 年度より本格運用を開始した。

このシステムの特徴は次のとおりである。

- ①教員の様々な活動実績や活動に関わる情報を一元的に管理できる。
- ②実績を、職員自らが日々登録・管理できる。
- ③登録した情報の公開・非公開の設定ができる。
- ④電子化されたファイルを添付保存できる。
- ⑤業績の実数と、登録情報の数が一致する。
- ⑥お気に入り(MyList)機能による登録・検索情報の整理ができる。
- ⑦個人の寄与部分についてコメント追加できる。
- ⑧公開用と登録・管理用を同一システムで行う。
- ⑨登録データがファイルでき、加工できる。
- ⑩情報の代行入力が行える。
- ⑪退職・転勤した教員の情報を保持できる。

本報告では、ARIS-Gifu における実績情報の分類(クラス)と項目構成の例について述べる。

### 2 実績情報の分類(クラス)

実績情報は、(1)教員に関する情報(教員プロフィール)、(2)教員のこれまでの教育研究活動実績情報、(3)教員が今後実施できる教育研究

支援情報、の3つに大別され、(2)はさらに次の11に分類されたクラスに登録される。(カッコ内は各クラスの項目数)

- a) 研究活動(文献): 研究活動のうち、学術論文、学会発表等の文献の管理を行う。(29)
- b) 研究活動(芸術・スポーツ・技術の創作創出・受賞表彰等): 研究活動のうち、展覧会の開催、発表会等の芸術・スポーツ・技術の創作創出および受賞表彰等の管理を行う。また、特許の取得、受賞、表彰等に関する情報も管理する。(25)
- c) 研究活動(外部資金): 科学研究費、受託研究、奨学寄附金など、外部からの研究助成金取得情報の管理を行う。(25)
- d) 教育活動(授業): 教育活動のうち、授業担当に関する情報の管理を行う。何の授業をいつ担当したかの情報を管理。(27)
- e) 教育活動(学生指導): 教育活動のうち、学生指導に関する情報の管理を行う。卒業論文、修士論文など指導した学生の氏名、研究テーマ等の情報を管理する。(15)
- f) 教育活動(教材開発): 教育活動のうち教材に関する情報の管理を行う。授業用に作成した電子化された教材・資料をマルチメディアファイルとして管理できる。(17)
- g) 教育活動(諸活動): 教育活動のうち、クラブ、学生支援、研究生等の受け入れなど、教育諸活

\*1 MUEASE, Koichiro : 岐阜大学・総合情報メディアセンター murase@cc.gifu-u.ac.jp

\*2 OKIDO, Ritsuko : 岐阜大学・総合情報メディアセンター okidor@cc.gifu-u.ac.jp

\*3 KATO, Naoki : 岐阜大学・総合情報メディアセンター nkato@cc.gifu-u.ac.jp

\*4 MASHIKO, Norifumi : 岐阜大学・総合情報メディアセンター mashiko@cc.gifu-u.ac.jp

\*5 MATSUBARA, Masaya : 岐阜大学・総合情報メディアセンター masa@cc.gifu-u.ac.jp

- 動に関する情報の管理を行う。(13)
- h) 教育活動 (教育研究支援実績) : 教育活動のうち、教育研究の支援を行った場合、その実績を管理する。(16)
- i) 社会貢献・社会活動 : 教職員が行う社会貢献等の情報の管理を行う。学会の役職、教育委員会、企業等の委員や役員、非常勤等の情報を管理する。(15)
- j) マスコミ報道 : 教職員が行っている研究や発表会、開発した技術がマスコミ等に取り上げられることが多くあるが、それらの情報の管理を行う。掲載された年月日、報道機関とともに、電子化ファイルなどで新聞など一次資料の保管できる。(12)
- k) 学内運営管理 : 学内における学部、学科、委員会などでの役職、委員会活動等の情報を管理する。(13)
- なお、個人プロフィールについては 55 項目、今後実施できる教育研究支援は、13 項目である。

### 3 項目構成の例

各クラスの項目には、登録 ID、登録日、情報所有者、権限等の、システムがデータ管理上自動的に付与する (利用者には認知されない) ものと、利用者が入力・登録する項目に大別される。利用者が入力する項目には、各クラスにほぼ共通するものと、クラスに固有の項目がある。

#### ①項目属性

項目には、次のような属性が設定される。

- (a) 検索キー属性 : 多様な検索ができるように、ほとんどの文字や数値 (含日付) で表される項目を検索項目に設定。
- (b) 必須属性 : 情報登録が簡便にできるよう、必要最低限の入力項目を設定した。その多くは、クラス毎の分類、題目、氏名、日付などである。またこれは、検索時に情報が必ず何らかの検索条件でヒットすることを保証するものである。
- (c) 重複チェック属性 : 同じ情報の重複登録を防ぐための項目で、この属性がついた 2~4 項目が同じ内容であった場合重複の可能性と判断し、情報登録者や所有者に通知メールを発信するようになっている。
- (d) 一覧表示属性 : 検索結果の一覧に表示される項目を指定する属性である。
- (e) ソートキー属性 : 検索結果を一覧表示する時に、並べる順序を決めるための属性である。
- (f) 項目名 : 項目の名前である。
- (g) 項目別名 : 一覧表示などで使われる短い項目

名である。

- (h) 型・長さ : 数値型(int), 日付型(date), 文字列型(text, textbox)など。「表題」の項目長は 100~320 字, 「氏名」40~100 字, 「概要」は 1600 字程度が設定されている。
- (i) 生起属性 : 論文における著者名や索引語のように、一つの情報に複数のデータが存在するものがあり、それを指示する。また著者名と所属名のように、セットで管理すべきデータもあり、これも表現できなければならない。
- (j) データ設定方法 : 「種類」など予めデータが決まっている項目については、登録の利便性のため、リストからの選択入力項目として設定する。
- (k) 公開・非公開属性 : 項目によってはメモ的あるいは個人的な覚えとして登録しておきたい、個人情報に関わるので公開したくない、公開にはふさわしくない等の内容もある。その際には、項目によっては、公開・非公開が設定できる。また、利用者 ID を持つ利用者 (学内教職員、学生・院生等) のみが参照できる「認証公開」も設定できる。なお、この「公開・非公開・認証公開」属性は、項目毎のほか個々の情報そのものにも設定できる。

#### ②クラスに共通の項目

クラス毎で項目構成は異なるが、ほぼ共通して設定されている項目がある。種類、表題、氏名、概要、索引語、URL、電子化ファイル、特記事項、備考などである。

- (a) 種類 : 分類されたクラスの中での小分類。これらにより、岐阜大学の「教育職員の個人評価について」に設定された実績情報がほぼ登録できるようになっている。
- (b) 表題 : 実績の内容を表す短文。論文ならその題目、社会貢献の出前講義なら、その講義題目などである。
- (c) 概要 : 実績の概要や抄録。
- (d) 索引語 : 人跡の内容を端的に表すキーワード。
- (e) URL : 実績によっては、より詳細な情報を教員が Web ページとして作成したり、関連資料がある場合がある。それらへのリンク情報を複数個記録できる。
- (f) 電子化ファイル : 論文本体や教材など電子化できる情報を複数個登録できる。
- (g) 特記事項、備考 : 情報登録者が覚えや作業用に利用できる。主に非公開設定である。
- <参考>村瀬康一郎他(2004)岐阜大学における教育・研究情報システムの構築(1), 岐阜大学総合情報メディアセンター研究報告, 22(1), 61-71